



2015年5月のロータリーレートは1ドル=118円

2015年 地区大会は10/24～10/25

「Be a gift to the world」世界へのプレゼントになろう

2015～16 K.R. “ラビ”ラビンドランRI会長

「ロータリーを楽しむ」

国際ロータリー第2610地区2015-16年度ガバナー 柳生 好春

「楽しく活気のあるクラブを目指して」 金沢百万石RC会長 魏賢任



柳生好春ガバナー



8/27 の例会前に会長幹事と柳生好春ガバナー辻卓ガバナー補佐、で懇談会を行った。

出席：辻卓ガバナー補佐 魏賢任会長 若狭豊会長エレクト 大路孝之幹事 武藤清秀副幹事



宍戸紀文 SAA

## 例会便り

第799回

ホテル日航 3F

8/27 例会出席率 22/41 53.65%

5月の平均出席率 66.72%

### 点鐘

ロータリーソング

『我等の生業』

2. 四つのテスト

3. 魏賢任会長 挨拶 本日は柳生ガバナー、辻ガバナー補佐、また石澤地区幹事、山田副幹事、お忙しいと

ころ金沢百万石ロータリークラブにお越しいただきありがとうございます。先程来1時間ほど大路幹事、若狭会長エレクト、武藤副幹事と私の8名で懇談をさせていただきました。その中で今年の会員増強目標を20周年に向けて会員50名ぐらいの規模とするため、今年度は47名目標とすることについて、柳生ガバナーから激励のお言葉をいただきました。不可能ではない、必ず実現できると言っていました。また米山奨学生に関して、貧しい学生より優秀な学生を支援し、費用対効果ばかりではありませんが、将来その国のリーダーになるような方、また日本とその国の架け橋となるような将来有望な方を支援する事が米山の目的・方向性でないかということでした。私自身も元留学生で日本の文部省（当時）の奨学生として採用され一年間援助をいただきましたが、これから一生涯恩返しをしていかなければいけないと考えています。そういう意味でも米山奨学生は投資とはいってませんが、費用対効果のある事業だと気づかせていただきました。これから金沢百万石ロータリークラブも留学生の受入れなど、更に米山に力を入れていきたいと思っております。また中国には現在4つのクラブがありまして、経済発展が著しく外国駐在員の多い地域、上海・深圳などで活動しています。これから近い将来、中国でロータリークラブが認められるようになったら、雨の後の筍のように一気にたくさんのクラブができるのではないかと思いますし、その時に米山奨学生だった方に活躍してもらわなければならないと思います。そう信じて私達も米山奨学金に更なる貢献をしていきたいと思っています。



石澤地区幹事 山田地区副幹事

- 1) **ゲストのご紹介**〔卓話者〕国際ロータリー第2610地区ガバナー 柳生 好春(やぎゅう よしはる)様 石川第1分区Bガバナー補佐 辻卓(つじ たかし)様 地区幹事 石澤 康(いしざわ やすし)様 地区副幹事 山田 勉(やまだ つとむ)様
- 2) **ビジターのご紹介** 南砺RC 中田裕二(なかだ ゆうじ)様 金沢みなとRC 田町雄豊(たまち ゆうほう)様

### 3) 日台親善会議実行委員会委嘱状の贈呈

大路孝之・魏賢任・井口千夏・藤間勘菊・宮永満祐美 会員



## 《 食 事 》

### 幹事報告・委員会報告



〔幹事報告〕大路孝之会員：9/2(水)～9/7(月)まで事務局不在となります。

#### 〔委員会報告〕

**谷伊津子会員**：社会奉仕委員会からご連絡をいたします。9/5(土)10:00から地場産センターにて講演会を開催します。地区の各クラブより2名のご出席依頼をいたしましたところ、現在50名程の出席予定の報告があり、このクラブからはどなたも出席にならないとのことで、ぜひ代理出席をお願いいたします。講演会は100名程の予定をしており、ロータリアン以外のご出席もOKということで了解を得ましたので、友人知人をお誘いいただいでご出席いただければと思います。創業95年の飛騨産業というキツツキマークの家具の会社です。先週、会社訪問で高山へ行って来たことをお話させていただきます。地元に戻ってきた若者達に向けて職業訓練学校を設立し職人を育てることをしています。また大学教授を招いてキツツキ研究所というのを設立し、杉材を圧縮する技術を開発し椅子を作ったり、杉から抽出するエキスに殺菌効果があるということで様々な開発をしているということです。素晴らしいと思ったのは、修繕加工、古い家具の修復です。家具の傷は残したまま張り替えを行うなど、思い出とともに家具を長く愛用するという考えの社長さんでして、是非皆さんに聞いていただきたい講演だと思います。ご協力よろしくお願ひいたします。



**藤間勘菊会員**：パイロットクラブからご連絡いたします。今年はパイロットウォークが9/27(日)また美術展が9/18(金)～9/27(日)までございます。百万石ロータリークラブから毎年ご後援をいただいております。よろしくお願ひいたします。



**上杉輝子会員**：おかげ様でアメリカ短期交換学生としてブレディ君のお宅へホームステイしておりました孫の南月が今週月曜日に無事に帰って参りました。とてもいいご家庭で、楽しませていただき勉強にもなったようで、本人も喜んで帰ってきましたのでまずご報告させていただきます。近く例会にて本人からもご報告させますが、とりあえず皆さまに色々お世話になりました。有難うございました。

### ニコニコBOX

¥17,000- 本年度¥203,100- 残高¥5,275,611-



**ガバナー 柳生好春様・ガバナー補佐 辻卓様・地区幹事 石澤康様・地区副幹事 山田勉様 南砺RC 中田裕二様**：南砺よりメークにうかがいました。南砺RCは9月より岡部ガバナーエレクトの下、事務所を立ち上げます。皆様の御指導・御助言よろしくお願ひ申し上げます。

**魏賢任会長**：皆さま こんにちは。今日は待ちに待った柳生ガバナーが我が百万石RCにご訪問とご指導 ありがとうございます。お話を心より楽しみにしています。

**大路孝之幹事**：柳生ガバナー本日はよろしくお願ひいたします。

**石丸幹夫会員**：柳生ガバナー様、辻ガバナー補佐様 お世話になります。よろしくお願ひい

たします。

**岩倉舟伊智**：柳生ガバナー、辻ガバナー補佐、石澤地区幹事、並びに山田地区副幹事 本日はよろしくお願いたします。

**木場紀子会員**：柳生ガバナーようこそ百万石へ。お話し楽しみに聞かせていただきます。

**炭谷亮一会員**：柳生ガバナー、辻ガバナー補佐、石澤地区幹事、山田副幹事 今夜は御苦労様です。

**藤間勘菊会員**：柳生ガバナー、辻ガバナー補佐、石澤地区幹事、山田地区副幹事、南砺RCより中田様ようこそ。

**布施美枝子会員**：柳生ガバナーようこそ。卓話たのしみにしております。お誕生日が同じです。宜しく。

**永原源八郎会員**：柳生ガバナー、辻ガバナー補佐、石澤地区幹事、山田地区副幹事ようこそ百万石ロータリーにおいて下さいましてありがとうございます。

## 講話の時間

### 『ロータリーの魅力』

国際ロータリー第2610地区ガバナー 柳生 好春（やぎゅう よしはる）様

紹介者：炭谷会員



柳生ガバナーは1951年に羽咋でお生まれになり、現在は金沢市三馬にお住まいで、最終学歴は中央大学法学部法律学科卒業され、(株)CWM 総合経営研究所 統括マネージャー、1986年1月に(株)日本エルデイアイを設立し現在代表取締役をされております。簡単に申しますと有松にある東大セミナーのオーナーでありまして、各所に塾を開設されております。ロータリー歴は1990年に野々市ロータリークラブに入会され、2004 - 05年度 野々市ロータリークラブ第25代会長、2007 - 08年度

石川第1分区Bガバナー補佐をされております。そのほか2015年2月には米山功労者 メジャー・ドナーになられております。

**講話：** 今ほど委嘱状を渡させていただきましたけれども、今の地区組織の中で百万石さんにはお世話になっております。今後とも一年間よろしくお願いたします。地区には65クラブありますが、合同例会もあるのでクラブ



訪問は56回、昨日がちょうど半分の28回目でした。今日のタイトルは「ロータリーの魅力」ということで話をさせていただきます。各クラブを回って色々気づいたことがあります。勢いのあるクラブは夜間クラブが多いです。金沢では香林坊、高岡では万葉クラブ、富山ではみらいクラブがこちらと同じように女性会員が12~3名いるクラブです。共通しているのは年齢構成のバランスがいいということで、平均年齢が50代後半で例会場へ入った途端活気を感じます。平均年齢64~65才のクラブとは雰囲気の違いです。これから若い人達が入るには、ざっくばらんさが必要だと思います。若いクラブではビールを飲む会員の方もいますし、それを疑問に感じている会員もいるかと思いますが、卓話になると静かになってメリハリがきいていました。楽な感じでアメリカのクラブのようなカジュアルな感じも

必要なかなと思います。世界では夜間例会が8割ですが、国内は東京ロータリークラブがモデルになっているようで、昼の帝国ホテルに黒塗りの車が集まって、きちっと例会を行っています。RIは刷新性とか革新性とかマナーを脱しようということをいっておりますし、われわれは今後例会のあり方も考えていかなければならないと思います。私は38歳の時にロータリーに加入し25年と、まだまだ歴史は浅いのですが、最近思う事があります。一つは”ロータリーの友情”についてです。私はこの年になって友情の意味・意義をかみしめております。東京大学哲学科教授であった故 今道友信氏の本を見た際、”友情”について触れていた。彼は美学にも通じキリスト教の信仰も持っている。ロータリアンではないのですが、まさにロータリーの友情に繋がっていくような友情について書かれていた。日本人はゴルフ友達とか飲み友達とか友を簡単に使うけれども西洋人はそうではない。例えば聖書には「友のために命をすてる以上に大なる価値はない」という言葉がある。アリストテレス、プラトン、キケロが唱えた最高の徳は友情です。狩猟民族で敵・味方がはっきりしていた西洋人にとって、友情というものは非常に重いものだった。ところが我々の祖先は気候・自然に恵まれた農耕民族で敵味方をはっきり分ける必要がなかった。ポール・ハリスを支えたロータリーの3賢人がおり、ペリー事務総長、職業奉仕理念をロータリーに持ち込んだシェルドン、コリンズである。コリンズのスピーチにこんな言葉が残っている。「私達ミネアポリスのクラブには、もし自分の身に何かがあった時にはロータリーに言えば必ず助けてくれる」それくらい”友情”がロータリーにとって非常に重要なものであった。私達は単なる知り合いの集まりではなく、友情で結ばれた人達が週1回集まっている、この価値を確認しなければいけない。クラブ奉仕ということもよくいわれる。クラブサービスの最大は例会への出席である。これ以上のものはない。参加の出欠を早く事務局に伝えることもクラブサービスのひとつである。2700地区福岡のバスターガバナーで、九州大学医学部名誉教授であり、ハーバード大学の客員教授で



もあつた廣畑富雄先生の言葉です。一方もうひとつの奉仕団体は月2回の例会であり、会員増強においてその点が私達のハンディキャップになる可能性もある。しかし例えば仕事で1回欠席したとなると月1回、それが2回続けば1ヶ月顔を合わせないということもあり得る。月2回の例会では友情・絆は深まらないと思います。私は週1回の例会がロータリーの強みだと思います。弱みが強みということがよくある。出席率に関してはこのクラブは後ろから数えた方が早いようです。今月は以前に会員だったお寺の住職の話の聞くという早朝例会がありまして、これまでもたくさん住職の話の聞いたけれども覚えている言葉は一つです。「どんなえらい方のいい話を聞いたとしても残らない。その場は感動していてもみんな忘れるんです。それでいいんです。しかしこの場に向いてきたという事実が残るんです」観念的にもおられるかもしれないが、私はその時唸りました。何年連続例会出席を誇りにしている方がこの地区にも沢山いらっしゃると思います。その事実に対して誇りを持っていらっしゃるのではないかと思います。それ以来出席することの意義を改めて感じました。それと38歳の時に入会したのがバブルの頃で、それからいつしか心が緩んで放漫経営になり、今から7～9年程前には大きな赤字をだして銀行取引がほとんどできない状況になりました。私達はロータリアンとしてこの場に集まっているのは、事業がうまくいってこそその社旗奉仕であり国際奉仕であらう。会社がうまくいかない時に世の中のために奉仕活動するのは空しい。職業奉仕はロータリアンの基本である。実はロータリーでは1960年までの間に路線闘争があつて、従来の親睦・友情・職業奉仕中心にやろうという人達と別に、社会奉仕中心にやろうとロータリーを出たのが某奉仕クラブです。その頃までロータリーにはほとんどプログラムらしいものがなかった。1962年にインターアクトができて1968年にローターアクトができて、青少年交換などが生まれてどんどん忙しくなり、1985年にポリオが生まれ今年ちょうど30年です。お陰さまでアフリカでは1年間発症していない。アフガニスタンに19件、パキスタンに2件というのが現状です。1985年には常在国が125ヶ国、毎日1000人の子供が世界のどこかでポリオに罹っていた。それをロータリーが粘り強く多額の資金寄附をして1年間20件までに減少した。RI会長が変わるごとにプログラムがどんどん増えて”スクラップ&ビルド”をやらずに”ビルド&ビルド”ということでロータリーが忙しくなった。また会員数も減少し、2009年にRIは危機感を持って今日のロータリーの低迷について調査会社に調査を委託したところ、アイデンティティの喪失である、ロータリーらしさが混乱しているという結論がでた。そこでRIは戦略計画をだしてクラブサポートの強化、奉仕プロジェクトの重点化の増加・公共イメージと認知度の向上というクラブが元気になるようなプログラムを発表した。ロータリーに加入する方は最初から社会貢献を目的にしている方ばかりでなく、自分を刺激して駆り立てる魅力があるからとか、友情の和を広げたいとか、何かメリットがないかという方が多数だと思う。ロータリーに入っているうちに意識が高まって世の中の為に何かしようという芽生えがでてくる。会員増強の際には”友情”と”職業奉仕”という原点を訴えないと、難しいと考える。また”職業奉仕”は倫理運動という方もありますが、倫理を高めるために仕事をするのではなく、お客さんが喜ぶことのためにサービスを高め良い物を作り、豊かになって社員に還元し、更には取引業者にもいい思いをしてもらう、近江商人の三方よしである。自分の商売を一生懸命やるということを職業奉仕の考え方が鼓舞してくれる。私はロータリーに入ることで、先輩達の後ろ姿を見て、いろんな会話の中で刺激を受け、揉まれて経営者としてのセンスを磨き、リーダーシップを磨き、今日まで来たと思っている。これ以上のロータリーの魅力はないと思っています。リーダーシップは会社では磨けません。社員は給料をもらう立場なので、みんな聞いてくれます。こんなに思想が違い、哲学が違い、人生観が違う中で、一つの方向性を見出し、語り合ってお互いを理解する。リーダーシップはロータリーで育つと思っております。仕事を一生懸命やる人ほどロータリーも一生懸命やり、その逆もしかり。忙しい人程時間の作り方・使い方がうまい。今後は30代・40代・50代の方にロータリーに加入いただき、地域経済を活性化し、そのための経営者養成所・修行の場となるべきと思っています。ロータリーは人を育てるところ、そして人の育つところであると言えます。先輩方の前で生意気なことも申しましたが、ロータリーを25年やってきてこの時点で感じていること、考えていることを率直に話をさせていただきました。より素晴らしいクラブとなられるよう祈念いたします。ご清聴有難うございました。



7. 質疑応答 8. 謝辞

点鐘

## ガン免疫治療薬開発競争 炭谷 亮一

健康な人の体内でも、ガン細胞は日々生み出されている。人体には、異常な細胞をやっつけて体を守る免疫機能が備わっており、T細胞と呼ばれる免疫細胞が主体となってガン細胞を攻撃して死滅させる、これによってガンの発症を防いでいる。

しかし不幸にしてガン患者となった場合、ある程度成長したガン細胞は悪賢くなり、T細胞からの攻撃をかわすためにPD-L1分子が発現してくる。これと結合したPD-1分子は、T細胞のガンを攻撃するスイッチをオフにするシグナルをT細胞に送る。免疫細胞であるT細胞からの攻撃がなくなるとガン細胞はネズミ算的に増殖する様になる。

さて上記のPD-1分子の働きを阻害するPD-1抗体つまり免疫チェックポイント阻害剤の1つで、ガンへのT細胞の攻撃中止を指示するシグナルを遮断し、T細胞にかかったブレーキを外し、容易にT細胞がガン細胞を攻撃出来る様にする。

このPD-1抗体の悪性黒色腫治療薬を小野薬品とブリストル・マイヤーズスクイブ（BMS）の連合体が厚労省から認可をうけ2014年9月2日に商品名「オプジーボ」を日本で発売した。

そのわずか2日後に、米メルク社はやはりPD-1抗体の悪性黒色腫治療薬「カイツルーダ」を米国のFDAから承認取得した。PD-1抗体の開発競争で先頭を走る小野薬品とBMSの連合体に米メルクが追い付いた瞬間だった。

その3ヶ月後に「オプジーボ」はFDAの承認を取得更には15年3月に肺ガンの内の扁平上皮ガンでも世界初のFDAの承認を取り、米メルクを抜き返してみせた。

これを機に世界中の有力製薬会社はガン免疫薬の開発競争に突入した。つまりガン免疫薬は今までの抗ガン剤と比較して固形ガンに対してより確実な効果がありガン患者を確実に延命させるものと認識した結果である。

おそらく将来的には年に数十兆円規模の市場になるとふんだのである。ガン免疫薬は「カネの成る木」と認識したのである。

世界的企業は1種類の創薬に1000億～3000億円のレベルで研究開発費を投入している（ちなみに日本の武田薬品の年間研究開発費の総額が3000億円程度で資金力がまるで劣る）。

実のところT細胞を不活性化受容体はPD-1だけではないCTLA-4、TIM-3、BTLA、VISTA、LAG-3等があり、それら不活性化受容体解除する抗体を求めて、世界の有力企業はまさに戦いをいどんでいると言った状態である（日本勢は残念ながら小野薬品がエース状態で他エーザイ、協和、中外が何んとか世界の有力企業とコラボして、金魚のフン状態で武田、第一三共の大手は出遅れている）。

更に更に更に、T細胞そのものを活性化する研究開発も進んでおり、その上ガン免疫薬同志の多剤併用は理論上飛躍的に抗がん性を向上させる為、併用療法の相手選びも激戦状態である。

最後にPD-1分子の発見と機能解明し、ここ数年内にノーベル賞を受章の栄に裕するのではないかとされている本庶 佑博士（京都大学名誉教授）の言によれば、自身は免疫の専門家であり、ガンの専門家でない、免疫の専門とガン専門との間に「ガン免疫」があると、ガンの専門家は、ガン免疫の世界の人たちが、効く効くと何十年も言い続けて研究費を得てきたのに、将来的に説得力のあるデータを出せてこなかったことに不信感を抱き免疫に手を出さなかった。

自身が研究を続け、マウスでこれだけ効けば原理的に人にも効くはずだと考えた。

一方でガン免疫の研究者たちは、免疫のアクセルを踏むことを一生懸命やって来た。自身はこの世界に染まっていなかったから、免疫にかかったブレーキを外すという新しいアプローチを取れた。車でパーキングブレーキをかけたままアクセルを踏んでも駄目で、あまり物事を知り過ぎると広い視点を忘れジャンプ出来ないと言うことだろう。PD-1は、ブレーキを外せばガン以外にもエイズの原因であるHIVなどのウイルス感染症に効き、ブレーキを強めれば自己免疫疾患の治療につかえるのではないかと明言している。我々人類は30種類以上のガン克服の為の強力な一手法を手に入れた様だ（ステージの進んだ悪性黒色腫に効果のあるガン免疫治療薬なら他のガンにも効果があるはずである）。



### 会員消息

谷伊津子会員の **Dinner Concert** の  
お知らせ 10/12 (月祝)18:00より 金沢ニ  
ュウグラントホテルにて

### クラブ例会予定 2015-2016年度

8/27 柳生ガバナー訪問 ホテル日航金沢 3F  
9/3 井上正雄会員  
9/10 上田喜之様  
9/17 卓話者 未定

### 第3回国際ピアノコンクールに金沢百万石 RC 賞を

主催：石川県ピアノ協会（東海林也令子会長）



特別賞の金沢百万石 RC 賞をわたす魏賢任会長



連弾の部では 上杉廉君が銀賞 左端

9/30（小学校高学年の部の特別賞として 国立市立国立第3小学校の島田 隼（ジュン）君 にわたされました。  
又 連弾の部では 上杉廉君が杉原未緒さんと組んで小学生高学年の部の銀賞でした。

## 2015～16 役員・理事・委員会

**(役員)** 会長：魏 賢任 エルト：若狭豊 副会長：上杉輝子 幹事：大路孝之 副幹事：武藤清秀

会計：西村邦雄 直前会長 宮永満祐美

**(理事)** 東海林也令子（クラブ管理運営委員長） 水野陽子（奉仕プロジェクト委員長）

金 沂秀（会員組織委員長）

藤間勘菊（広報委員長）

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事岩倉舟伊智 監査：後出博敏

**(委員会)**

クラブ管理運営委員長：東海林也令子 副：稲山訓央

親睦：○武藤清秀 二木秀樹 川きみよ 金沂秀 杵屋喜三以満 後出博敏 大沼俊昭 相良光貞 高田重男  
辰己クミ 若狭豊 山崎正美 竹田敬一郎

例会：(プログラム/出席) ○井口千夏 江守巧 宮永満祐美 水野陽子 吉田昭生

SAA：○稲山訓央 西村邦雄 宍戸紀文 ニコニコ：○布施美枝子 宍戸紀文

友好・クラブ細則： 細則 CLP 検討○江守巧 岩倉舟伊智 富山西 RC との交流岩倉舟伊智 藤間勘菊 木場紀子

直前委員長：二木秀樹

金沢北 RC との合同例会 ○二木秀樹 杵屋喜三以満

その他友好クラブとの交流 ○石丸幹夫 藤間勘菊 村田祐一 東海林也令子

奉仕プロジェクト委員長：水野陽子 副：川きみよ

職業：○村田祐一 二木秀樹 井口千夏 若狭豊 永原源八郎 谷伊津子

社会（新世代・青少年を含む）：○永原源八郎 北山吉明 東海林也令子 武藤清秀 谷伊津子

国際：○炭谷亮一 世界社会奉仕（R財団）ラオス支援 ○炭谷亮一 岩倉舟伊智 西村邦雄

描き損じハガキ ○江守道子 米山奨学会 ○藤間勘菊

青少年奉仕 ○上杉輝子 国際青少年交換（日韓など）○上杉輝子 金沂秀 吉田昭生

直前委員長：北山吉明

会員組織委員長：金沂秀 副：井口千夏

会員増強：○大路孝之 江守道子 石丸幹夫 岩倉舟伊智 野城 勲 宮永満祐美 炭谷亮一

永原源八郎 高田重男 修練 北山吉明 江守巧 石丸幹夫 木場紀子 直前委員長 金沂秀

広報委員会委員長：藤間勘菊 副：宍戸紀文 広報：○上杉輝子 石丸幹夫 ローターリー情報：宍戸紀文

藤間勘菊 布施美枝子 会報・ホームページ：石丸幹夫 宍戸紀文 直前委員長 藤間勘菊

長期姉妹クラブ担当 韓国南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

**(地区委員)** 諮問委員会委員 地区ガバナー氏名委員会委員、日台親善会議実行委員会顧問 R米山記念奨学会委員会カウ

ンセラー 炭谷亮一 社会奉仕委員会委員長 谷伊津子 危機管理委員会委員 石丸幹夫 広報委員会委員 藤間勘菊

日台親善会議実行委員会 宮永満祐美 R米山奨学会委員会委員（米山奨学金/学友会担当）大路孝之

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒 920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19：00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒 920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9：00～15：00 休憩時間 12：00～13：00 木 15:00～20:00

休日（土日祝日）事務局員 西村有里 幹事 大路孝之